

ユーシン

景況レポート

Number.112
(2022.4~6月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業230企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果の
あらまし

概況(4月▶6月期)

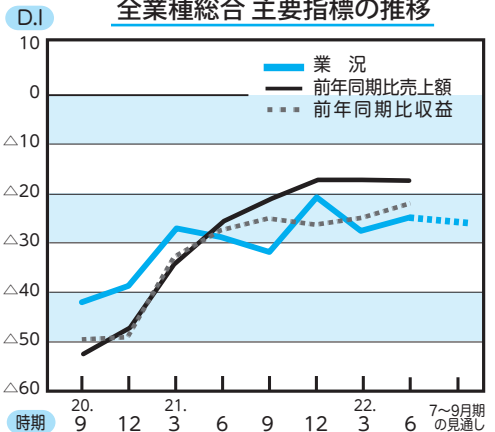
製造業・卸売業で改善、 小売業・サービス業・不動産業で低下

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は $\Delta 25.7$ と、2022年1~3月期(前期)の調査より2.6%改善し、景況感は小幅な良化に留まりました。業種別では、建設業で前期比横ばい、小売業で同比9.8%、サービス業で同比4.2%、不動産業で同比11.1%低下しましたが、製造業で同比11.1%、卸売業で同比16.7%改善しました。

項目別では、売上額判断D.Iが $\Delta 15.7$ と前期比7.3%、収益判断D.Iが $\Delta 19.6$ と同比6.1%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが $\Delta 17.0$ 、前期比0.8%、同収益判断D.Iが $\Delta 21.3$ 、同比3.9%ともに改善しました。雇用面では、人手過不足判断D.Iが $\Delta 10.9$ と前期比0.9%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iにおいては前期比2.2%低下しました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比横ばいで、借入難易度は、特に大きな変化は見られませんでした。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が36.1%、「原材料高」が32.6%、「同業者間の競争激化」が26.5%と上位に挙げられました。また、特別調査の「最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか」の質問に対し、「原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰」との回答が26.7%と最も多く、次いで「エネルギー以外の価格高騰」との回答が25.8%という結果となりました。

全業種総合 主要指標の推移



◎業況判断D.I = 「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8~9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

業況の見通し判断D.Iは $\Delta 27.0$ 、当期実績比1.3%低下の見込

来期は、卸売業・小売業で改善を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比1.3%、収益判断D.Iでは同比0.4%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比2.2%上昇を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.6%改善、残業時間判断D.Iが同比1.3%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が60.0%、「販路を広げる」が31.7%、「人材を確保する」が17.8%と上位に挙げられました。

景況天気図

〔この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました〕

業種名	時期	4年1月~3月	4年4月~6月	4年7月~9月見通し	概要	要
総合		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、2.6%改善し $\Delta 25.7$ 。来期は、1.3%低下し $\Delta 27.0$ の見通し。	
製造業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、11.1%改善し $\Delta 11.1$ 。来期は、8.3%低下し $\Delta 19.4$ の見通し。	
卸売業		☔️	☔️	☔️	業況判断D.Iは、16.7%改善し $\Delta 33.3$ 。来期は、12.1%改善し $\Delta 21.2$ の見通し。	
小売業		☔️	☔️	☔️	業況判断D.Iは、9.8%低下し $\Delta 56.1$ 。来期は、7.3%改善し $\Delta 48.8$ の見通し。	
サービス業		☁️	☔️	☔️	業況判断D.Iは、4.2%改善し $\Delta 30.0$ 。来期は、3.3%低下し $\Delta 33.3$ の見通し。	
建設業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、横ばいの $\Delta 11.1$ 。来期は、5.6%低下し $\Delta 16.7$ の見通し。	
不動産業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、11.1%低下し $\Delta 22.2$ 。来期は、5.6%低下し $\Delta 27.8$ の見通し。	

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ → 低調 / ☔️ 業況改善 ☁️ 業況悪化 → 業況変化なし

■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

【業況】

4～6月の実績	12.5	63.9	23.6
7～9月の見通し	8.4	63.8	27.8

【売上額】

4～6月の実績	12.5	59.7	27.8
7～9月の見通し	11.1	62.5	26.4

【原材料価格】

4～6月の実績	52.8	37.5	9.7
7～9月の見通し	48.6	44.5	6.9

【収益】

4～6月の実績	13.9	58.3	27.8
7～9月の見通し	6.9	68.1	25.0

■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△11.1、前期比11.1%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△15.3と前期比6.9%、収益判断D.Iが△13.9と同比6.9%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△16.7、前期比2.8%低下、同収益判断D.Iが△22.2、同比横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△11.1と前期比2.8%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△11.1と前期比5.5%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が23.6%（前期19.4%）、「予定あり」が16.7%（同11.1%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は5.6%（前期11.1%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が50.0%、「売上の停滞・減少」が34.7%、「利幅の縮小」が23.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

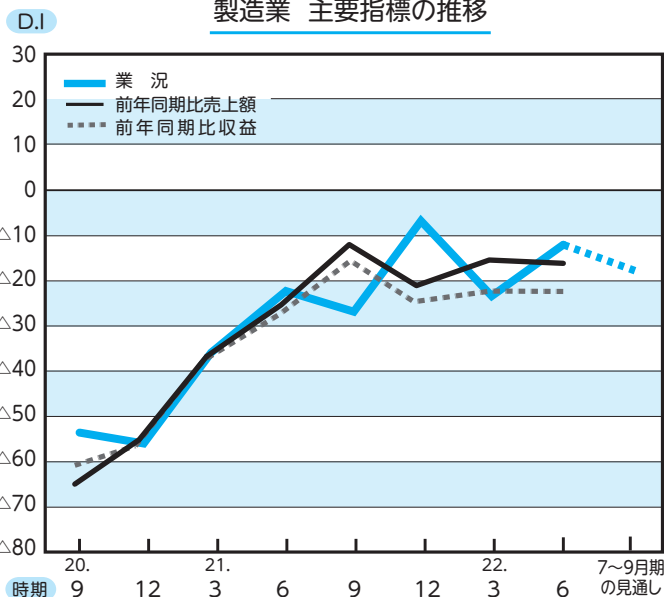
業況の見通し判断D.Iは△19.4、当期実績比8.3%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比4.2%低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比1.4%上昇を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比4.2%改善、残業時間判断D.Iが同比2.8%不足の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が61.1%、「販路を広げる」が37.5%、「人材を確保する」が20.8%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



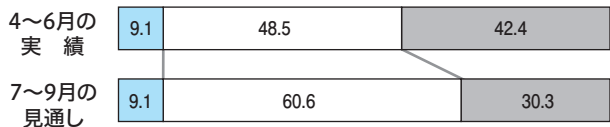
調査員のコメントから

昨年同時期に比べ売上は増加したものの、原材料価格高騰により収益に影響が出ている。また、品目にもよるが輸入制限等により仕入難が不安視されるため、仕入先の変更を検討している。

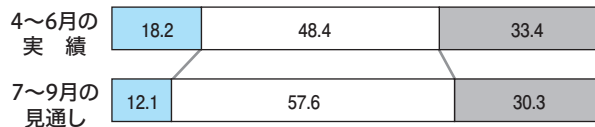
■ 卸 売 業

回答企業数33企業(回答率100%)

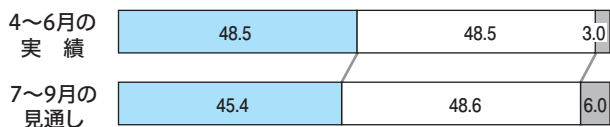
【業 況】



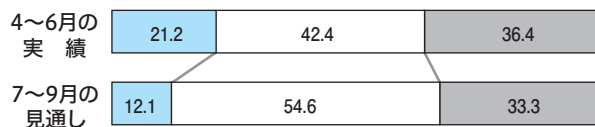
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△33.3、前期比16.7%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△15.2と前期比16.1%、収益判断D.Iが△15.2と同比19.2%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△15.2、前期比9.8%、同収益判断D.Iが△15.2、同比22.3%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△9.1と前期比9.1%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは3.3と前期比15.5%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.1%（前期15.6%）、「予定あり」が9.1%（同15.6%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は6.1%（前期3.1%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が51.5%、「利幅の縮小」が30.3%、「仕入先からの値上要請」が21.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

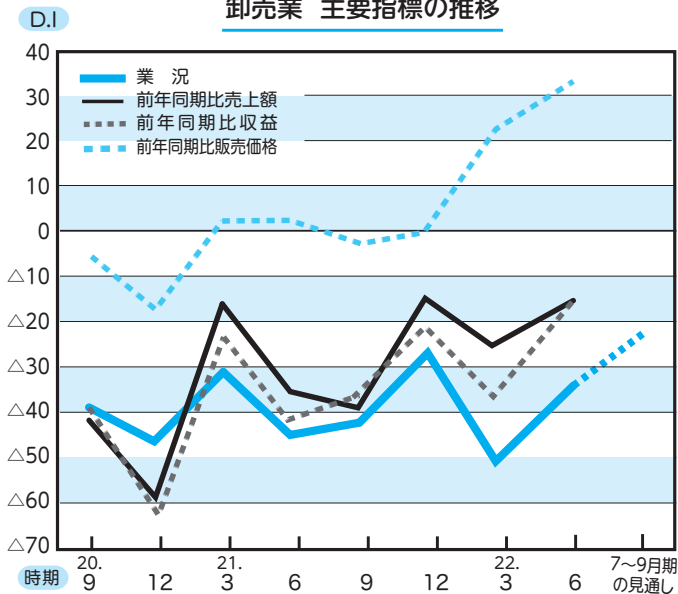
業況の見通し判断D.Iは△21.2、当期実績比12.1%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比3.0%、収益判断D.Iが同比6.0%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比6.1%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が63.6%、「販路を広げる」が48.5%、「情報力の強化」が18.2%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



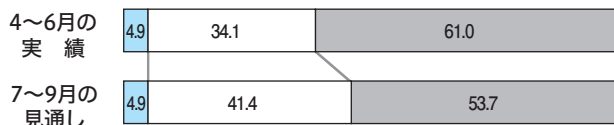
調査員のコメントから

コロナの影響が以前より落ち着き、顧客(売上)が戻りつつある。しかし、原材料高騰から仕入先の選別により収益確保に努めている。また、作業場の衛生面管理を強化し、安全な商品提供を心掛けている。

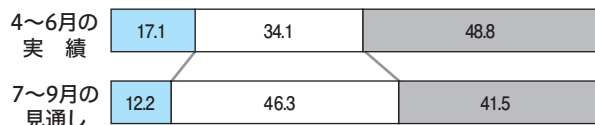
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

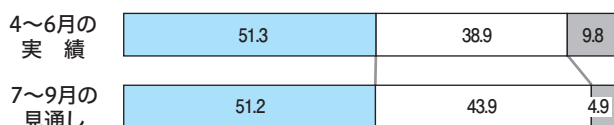
【業 況】



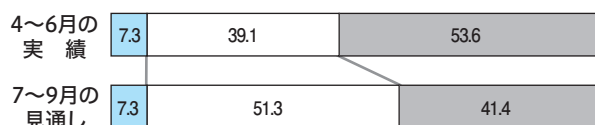
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△56.1、前期比9.8%の低下



項目別では、売上額判断D.Iが△31.7と前期比4.9%改善、収益判断D.Iが△46.3と同比4.9%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△36.6、前期比2.5%低下、同収益判断D.Iが△46.3、同比横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△2.4と前期比2.5%改善し、人手不足感がやや弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは△9.8と前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.8%（前期12.2%）、「予定あり」が7.3%（同9.8%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は4.9%（前期7.3%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が51.2%、「同業者間の競争激化」が39.0%、「大型店との競争激化」が31.7%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

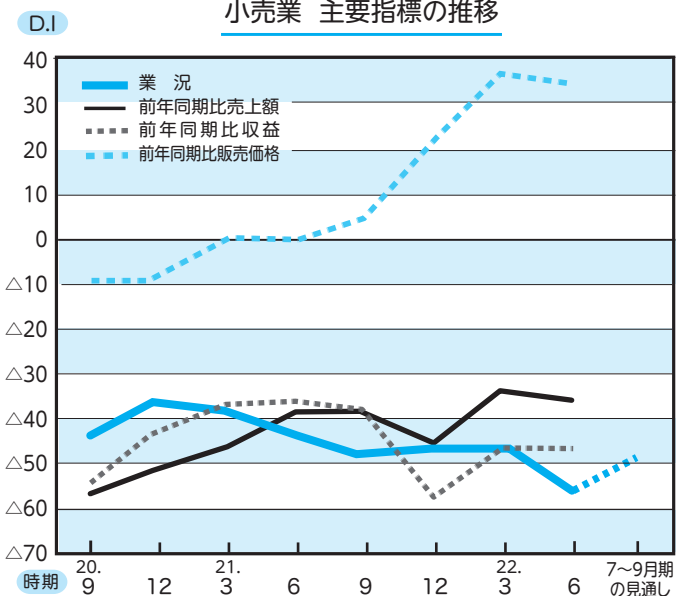
業況の見通し判断D.Iは△48.8、当期実績比7.3%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比2.4%改善、収益判断D.Iが同比12.2%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比7.3%上昇を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.4%改善、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が70.7%、「品揃えを改善する」が19.5%、「売れ筋商品の取扱」が17.1%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



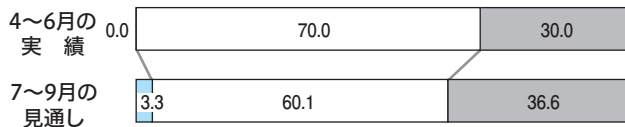
調査員のコメントから

インターネットでの販売が安定しつつあるなかで、店売りは減少傾向にある。なお、原油価格の高騰により材料価格が上昇し利幅が縮小している。

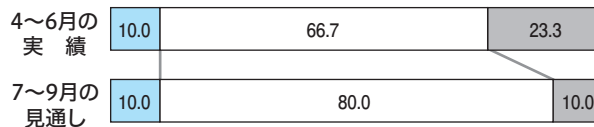
■ サービス業

回答企業数30企業(回答率96.8%)

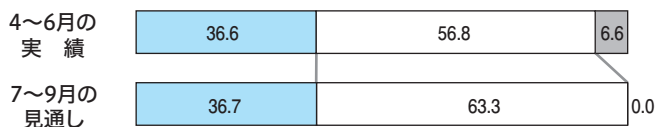
【業況】



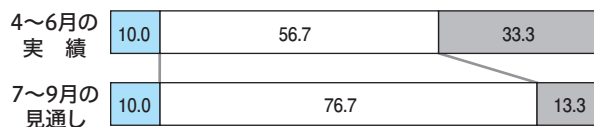
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△30.0、前期比4.2%の低下



項目別では、売上額判断D.Iが△13.3と前期比6.1%改善、収益判断D.Iが△23.3と同比3.9%低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△13.3、前期比0.4%、同収益判断D.Iが△20.0、同比7.1%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△13.3と前期比3.6%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△3.3と前期比0.1%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が10.0% (前期9.7%)、「予定あり」が0.0% (同3.2%) を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は0.0% (前期6.5%) となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が46.7%、「同業者間の競争激化」が30.0%、「売上の停滞・減少」が26.7%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

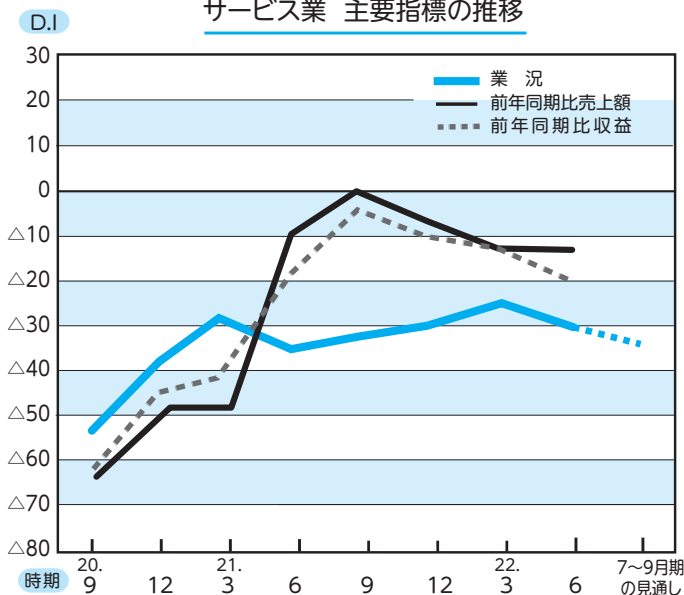
業況の見通し判断D.Iは△33.3、当期実績比3.3%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比13.3%、収益判断D.Iが同比20.0%ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比6.7%上昇を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比6.6%、残業時間判断D.Iが同比3.3%ともに改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が46.7%、「販路を広げる」が30.0%、「人材を確保する」・「教育訓練を強化する」がそれぞれ16.7%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



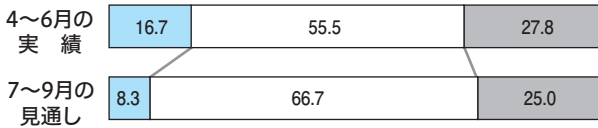
調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響により、一時期減少傾向にあった顧客も戻りつつある。しかし、仕入先の倒産等もあり業績への影響が懸念され、先行きは不透明である。

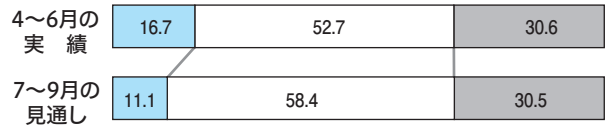
■ 建設業

回答企業36企業(回答率100%)

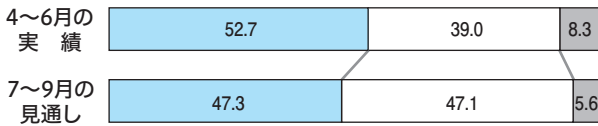
【業況】



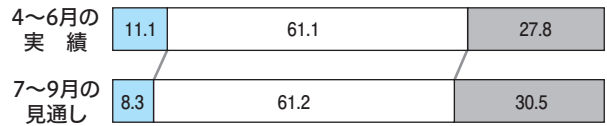
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△11.1、前期比横ばい

項目別では、売上額判断D.Iが△13.9と前期比2.8ポイント低下、受注残判断D.Iが△27.8と同比横ばいとなりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△8.3、前期比13.9ポイント、同収益判断D.Iが△11.1、同比11.1ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.7と前期比8.3ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△11.1と前期比16.7ポイント低下し、やや減少を示しています。

借入金の動きでは、「借入した」が22.2%(前期19.4%)、「予定あり」が19.4%(同13.9%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は8.3%(前期11.1%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が69.4%、「同業者間の競争激化」が36.1%、「人手不足」が27.8%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

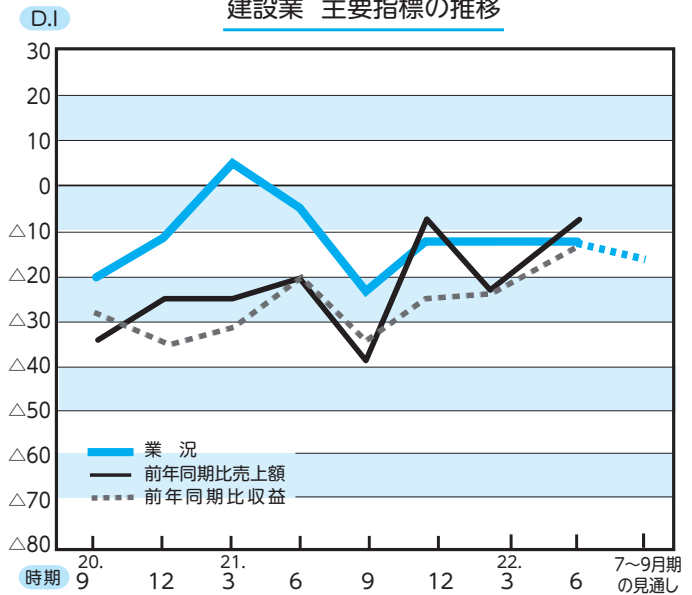
業況の見通し判断D.Iは△16.7、当期実績比5.6ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.5ポイント、収益判断D.Iが同比5.5ポイントともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比2.7ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.7ポイント、残業時間判断D.Iが同比2.8ポイントともに低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が72.2%、「人材を確保する」が36.1%、「販路を広げる」・「情報力の強化」がそれぞれ25.0%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



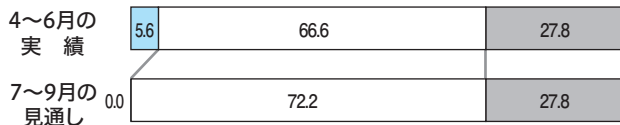
調査員のコメントから

公共工事受注は安定している。しかし、材料費高騰及び材料の調達遅延により工期が延びる状況にあるため、見積額の提出は慎重に決定している。

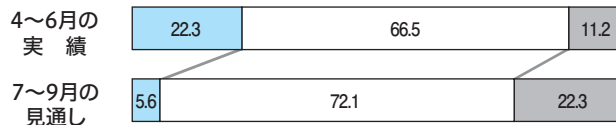
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

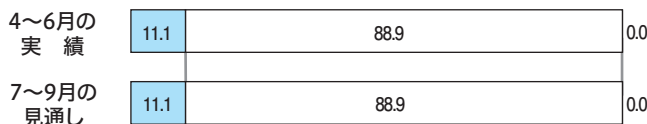
【業況】



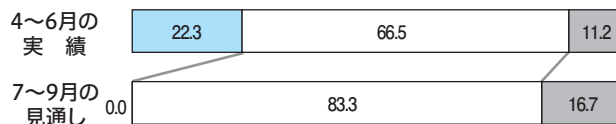
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△22.2、前期比11.1%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが11.1と前期比22.2%、収益判断D.Iが11.1と同比16.7%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0、前期比16.7%低下、同収益判断D.Iが5.6、同比横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.7と前期比横ばいにより、人手不足感の強まりに変化はありません。また、前期比残業時間D.Iは5.6と前期比横ばいで、やや増加に変化はありません。

借入金の動きでは、「借入した」が27.8% (前期33.3%)、「予定あり」が16.7% (同33.3%)を示しています。

経営上の問題点では、「大手企業との競争激化」が44.4%、「商品物件の不足」が33.3%、「同業者間の競争激化」が27.8%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

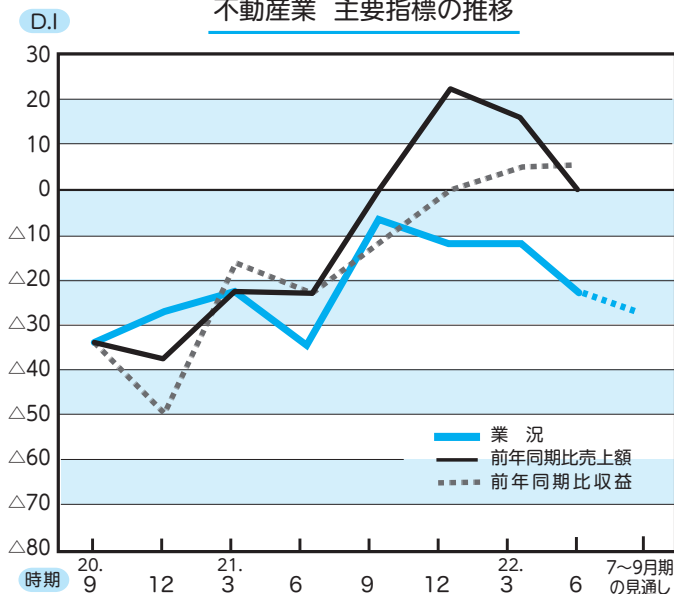
業況の見通し判断D.Iは△27.8、当期実績比5.6%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比27.8%、収益判断D.Iが同比27.8%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比5.5%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比5.6%改善、残業時間判断D.Iが同比5.6%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が66.7%、「情報力の強化」が44.4%、「宣伝・広告の強化」が27.8%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

ネット情報の高度化から、自社情報の差別化を図り、消費者から選ばれる店舗づくりに努めている。

特別
調査

混迷する経済社会情勢と中小企業経営

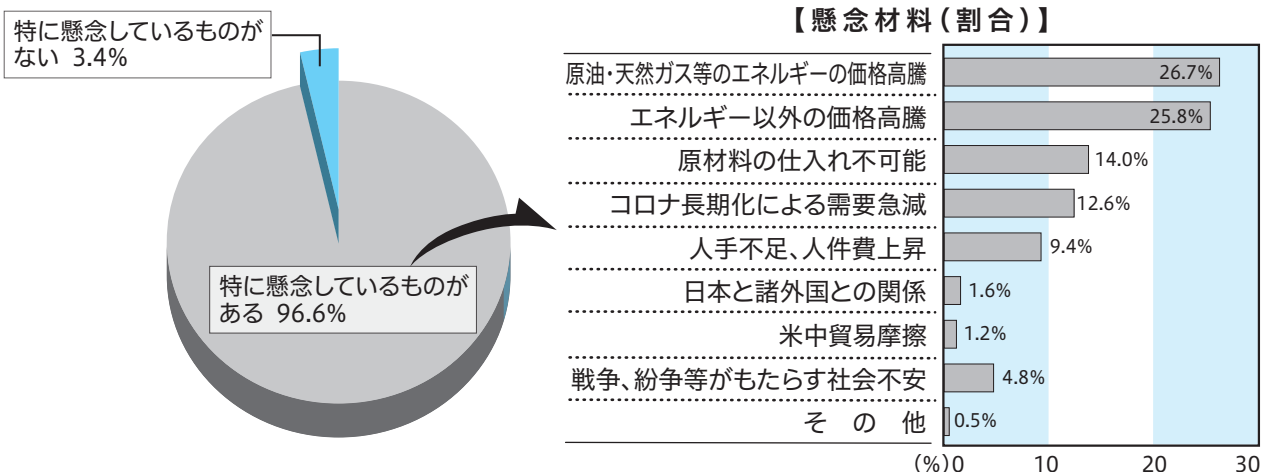
～コロナ・原材料価格高騰・海外情勢の緊迫化を受けて～

「混迷する経済社会情勢と中小企業経営 ～コロナ・原材料価格高騰・海外情勢の緊迫化を受けて～」について調査を実施しました。

「最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか」の質問に対し、「原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰」との回答が26.7%と最も多い結果となりました。また、「最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか」の質問に対し、「多少悪影響がある」との回答が56.1%と最も多い結果となりました。また、「今後、省エネにつながる設備投資を実施する予定はありますか」の質問に対しては、「実施予定はない」との回答が95.6%でありました。

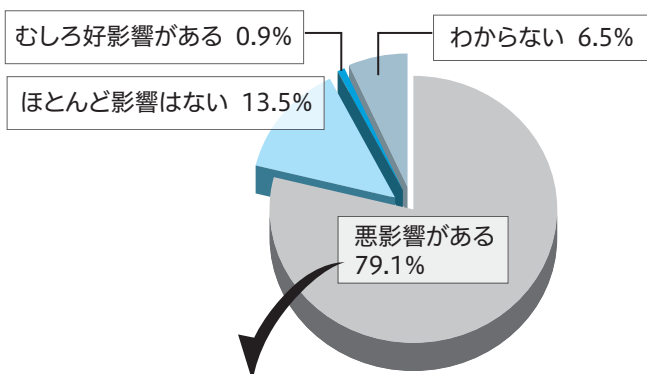
そのほか、「サイバー攻撃による被害」の有無や、「人材の確保・態勢の整備」状況について、次のように取り纏めました。

問1 貴社では、最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか。

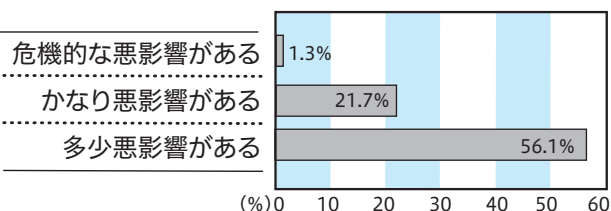


問2 貴社では、最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。また、今後、省エネにつながる設備投資を実施する予定はありますか。

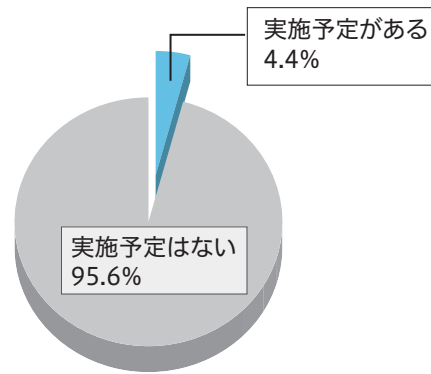
—— 収益への影響（割合） ——



【悪影響の度合い（割合）】



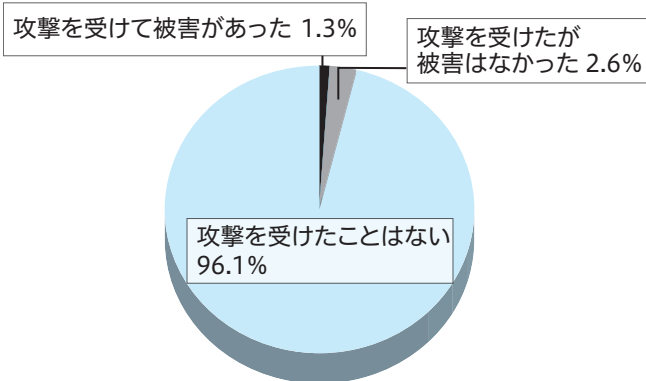
—— 省エネの設備投資（割合） ——



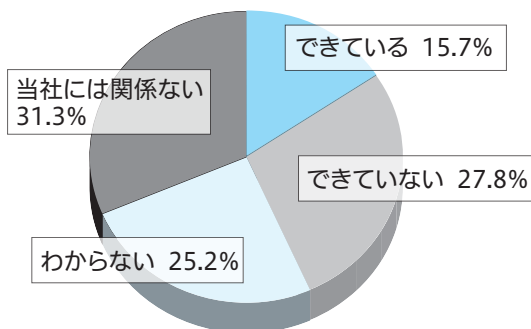
問3

企業や団体などを標的としたサイバー攻撃による被害が数多く報告されています。貴社はサイバー攻撃による被害を受けたことがありますか。また、サイバーセキュリティを確保するため、人材を確保し、態勢を整備していますか。

—— サイバー攻撃による被害(割合) ——

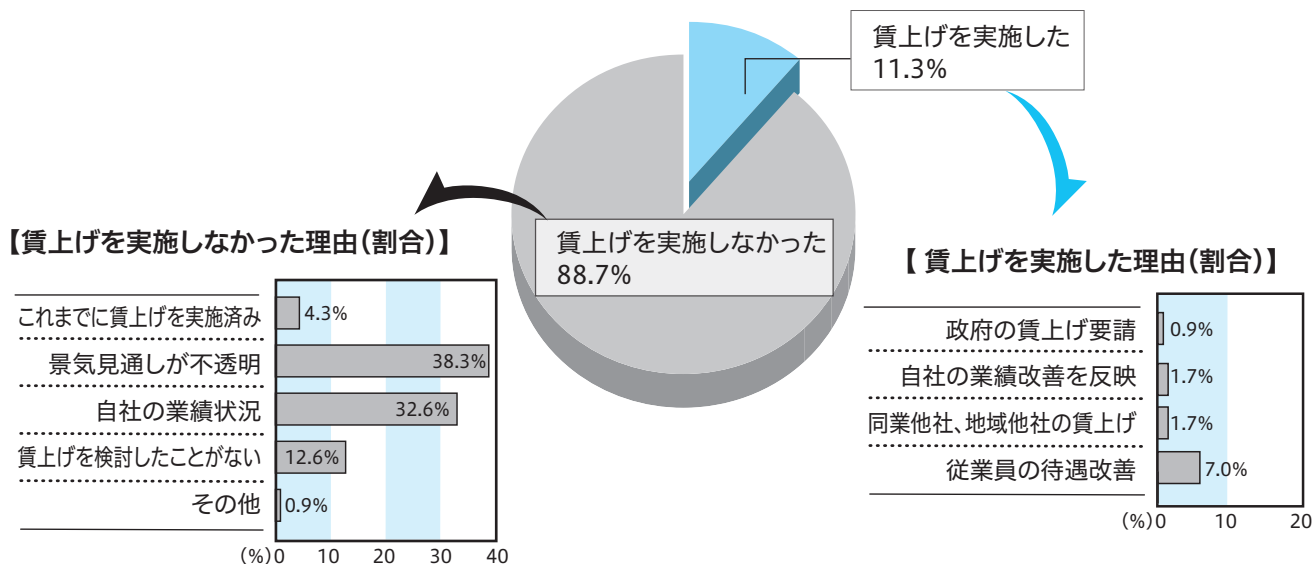


—— 人材の確保・態勢の整備(割合) ——



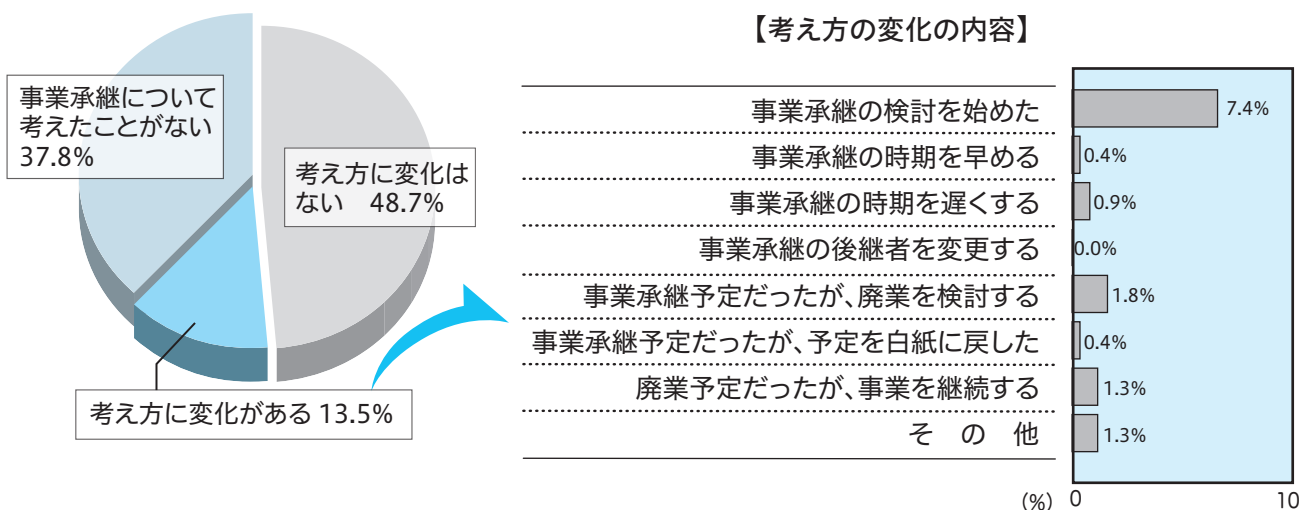
問4

経済社会情勢の混迷のなかで政府から賃上げが要請されていますが、貴社では、今春、賃上げを実施しましたか。賃上げを実施しなかった場合は、その理由についてお答えください。



問5

貴社では、コロナ禍を受けて、事業承継 (M&Aを含む。) についての考え方に変化はありましたか。



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただく
と結城信用金庫のホームページに
アクセスできます。

職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれかの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業主（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が18歳以上の方（但し、一般個人ローンは20歳以上の方）
- 保証会社の保証が得られる方

下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から
年1.50%
引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン

ご融資金額 **500**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

ブライダルローン

ご融資金額 **500**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

カーライフプラン

ご融資金額 **1,000**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

教育プラン

ご融資金額 **1,000**万円以内

ご利用期間 **16**年以内

子育て応援プラン

ご融資金額 **100**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

リフォームプラン

ご融資金額 **1,000**万円以内

ご利用期間 **15**年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

地方創生支援定期預金

取扱期間	令和4年6月1日(水)～8月31日(水)
預金種類	スーパー定期預金
契約対象	個人のお客様
預入金額	20万円以上300万円以下
預入期間	1年以上5年以下
預金利率	下記のとおりとなります。 ◆1～2年 店頭金利の+0.001% ◆3～5年 店頭金利の+0.002%

ご契約の方に20万円を1口として
抽選で**200名様**にプレゼント!

地元名産「さしま茶セット」

もしくは

下妻産「調味料セット」

※詳しくは営業担当または各店舗窓口まで

2024年版カレンダー

「ユージンのある街」写真コンテスト

結城信用金庫の店舗がある街で未来に残しておきたい風景・街並み・祭りなどをテーマに写真コンテストを開催中!

応募作品の中から優秀作品を選定し、2024年のカレンダーに採用します。

※応募要領につきましては当金庫ホームページをご覧ください。

— 後 記 —

ユージン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL(0296)32-2110 FAX(0296)33-0414
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>